

令和6年度 板橋駅西口周辺地区まちづくり説明会 実施結果概要

■開催概要

日 時：【1日目】令和6年7月27日（土）10:00～11:30

【2日目】令和6年7月29日（月）19:00～20:30

会 場：ハイレブプラザいたばし2階ホール

主 催：板橋区 まちづくり推進室 地区整備課

事 業 者：【板橋駅西口地区】板橋駅西口地区再開発組合、都市空間研究所

【板橋駅板橋口地区】野村不動産、JR東日本、板橋区ブランド戦略担当課

■参加人数：【1日目】29名、【2日目】21名 計50名

■説明概要

- ① 板橋駅西口周辺のまちづくり
まちの歴史、過年度の取り組み、エリアマネジメントについて
- ② 『板橋駅西口地区』市街地再開発事業
今後のスケジュール等について
- ③ 『板橋駅板橋口地区』市街地再開発事業
今後のスケジュール等について
- ④ 駅前広場の再整備
課題や再整備の目的、検討事項・検討結果について

※詳細につきましては、区HPにある動画をご覧ください。

《主な質疑応答》 ※質疑要旨については、簡潔にするため抜粋して掲載しております。

② 『板橋駅西口地区』市街地再開発事業

③ 『板橋駅板橋口地区』市街地再開発事業

Q 板橋口の4階公益エリアには何が入るのか。

A (区) 今後整備計画を策定し、明らかにしていく予定である。様々な方が活動、交流するような拠点として考えている。

Q 2つの再開発事業に区はどれだけの補助金を入れているのか。

A (区) 板橋口地区には区の補助金が入っていない。西口地区には、補助金として約92億円、公共施設管理者負担金として、約9.5億円を支払う予定である。

Q 別々の事業が動いているが、ランドデザインについてどう考えているか。

A (区) 再開発事業については、区が景観デザイン等の指導を行い、周囲と調和したデザインとなるよう誘導していく。駅前広場についても、住民の方々で行うワークショップ等を経て検討を行っていく。

Q 西口地区は、施工業者は決まっているのか。事業者間で定期的な打合せなど開催されているのか。

板橋地区は、どのような方が入居する予定なのか。

A (西口) 施工業者は決まっていらないが、特定業務代行により西松建設に協力してもらっている。

(板橋口) すべて分譲住宅を想定しており、平均住戸面積は 70 m²、2LDK から 3LDK が中心となる予定である。

(区) 打合せは、板橋口と西口の事業者と区の 3 者で年に 2 回ほど開催しており、工事日程等の調整を行っている。

Q 風や電波の問題が生じることはないか。

A (西口) 設計段階で、風が生じにくい設計としている。電波については、今はケーブルのため問題無いと考えているが、影響が出た場合は対応する。

(板橋口) 西口同様に、様々なシミュレーションを通して設計している。万一影響が出た場合は、個別に対応する。

Q 西口地区について、これまで計画の延期があったが、今回のスケジュールは決定という理解で良いか。

A (西口) 本日時点では 100%とは言えないが、概ね要件は揃ってきたため、今回説明したスケジュールで進めていく予定である。

④ 駅前広場の再整備

Q ワークショップの参加者の構成はどのようになっているか。

また、地元住民の意見を反映させるために、どのようなことを検討しているのか。

A (区) ワークショップの参加者の構成としては、概ね周辺地区の方が約 7 割、周辺以外の区民の方が 1 割、区外の方が 2 割である。今後、ワークショップや説明会以外にも、様々な手法を展開していきたい。

Q 新板橋駅から JR 板橋駅の乗り換えで多くの人が渡る交差点は信号がなくて危ないため、信号を設置してもらいたい。

A (区) 信号設置にはいくつかの基準があること、また設置することで信号無視が発生し、かえって危険を招く可能性があるため、警視庁と協議しながら対応していく。

Q 駅前広場には、公衆トイレ、交番を設置してもらいたい。

A (区) トイレについては、存続を要望する意見が多いため、設置する方向で考えている。交番については、設置の要望は出しているものの、警視庁からは難しいとの回答を受けている。引き続き要望を続けていくとともに、治安の悪化防止のための方策を考えていく。

その他

Q 工事車両が増えていくことで、道路が傷んで振動が発生している。工事がすべて完了する令和 11 年度までどのように対応していくのか。

A (区) 道路管理者である板橋区の方で状況を注視し、各事業者とも調整し、適切に判断しながら修繕を行っていく。

Q 人口が増えることになり、駅や各商業施設の混雑が想定されるが、何か対策を考えているのか。

A (区) 鉄道や商業施設においては、各民間事業者の判断によるものであるが、区としても状況を注視しながら、関わっていきたいと考えている。

Q 今回の説明資料はホームページに掲載してもらいたい。

また、質問に対する回答として、どのように対応するかだけではなく、結果として何をしたのかがわかるようにしてもらいたい。

A (区) 資料はすでに掲載しており、本日説明した内容も音声吹き込んだ形で近日中に公開する予定で、質疑応答についても同様に公開する予定である。詳細な結果については、回答できる範囲で対応したいと考えている。

Q 何故ここまで高い建物を建設する必要があるのか。

A (区) 板橋区全域で高さの規制はあるが、今回の事業は緩和措置により 100 メートルを超える高さとなっている。高さについては議論を重ねており、130 メートル程度であれば、許容内ではないかといった見解のもと決定している。

Q 工事中のねずみの発生について、どのように対応してくれるのか。

A (区) 現時点で具体的な対策はないが、事業者と連携しながら、その時の状況に応じて適切に対応していく。

【令和 6 年 10 月 15 日追記分】

2 棟のタワーマンションが建設されることによる駅機能への影響について

【質問概要】

2 棟のタワーマンションが建設されることによる駅機能への影響は無いか。

【回答】

※ J R 東日本にヒアリングを行ったのでその結果をお伝えいたします。

① 再開発事業後の居住者増加による駅機能の影響について

- ・ 事故などでダイヤの乱れがあった場合に、通常よりも利用者が集中していることは認識している。
- ・ J R 板橋駅は近年駅舎の改良を行い、階段の改修、エレベータ及びエスカレーターの設置を行った。
- ・ 現在の階段や通路の幅員とエスカレーターによる乗降客の処理能力を考慮すると、再開発事業による居住者の増加による影響はないと考えている。

② J R 板橋駅の安全性向上のための改良工事の予定について

- ・ さらなる安全性の向上をめざし 2031 年までにホームドアを設置する予定である。

この度は、連日厳しい暑さが続くなか、説明会にご参加いただき誠にありがとうございました。
引き続き地域の皆様の声に耳を傾け、できる限りの対応を検討して参ります。
何卒ご理解賜りますよう、今後ともよろしくお願いいたします。

【お問い合わせ先】

板橋区 まちづくり推進室 地区整備課 (板橋駅周辺係)

住 所 : 〒173-8501 東京都板橋区板橋二丁目 66 番 1 号

T E L : 03 (3579) 2556 / F A X : 03 (3579) 2129

Eメール : m-imachi@city.itabashi.tokyo.jp